

IEEE SMC Hiroshima Chapter 主催 Special Lecture

Date:2013年12月14日(土)13:30-17:00

Location:サテライトキャンパスひろしま

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3

参加費:無料

定員:50名

連絡先 E-mail:

ieee-smc-hiroshima-exec@smc-hiroshima.info.hiroshima-cu.ac.jp

その他:

詳細は下記の URL をご覧ください:

<http://www.smc-hiroshima.info.hiroshima-cu.ac.jp/>

コミュニティサイト

<http://goo.gl/LkHST>

応募多数の場合は、IEEE SMC 会員を優先します。

会場アクセス:



■ 人の感性に主導されるインタラクション

Time: 13:30-15:00

講師: 加納 政芳 先生 (中京大学 工学部 准教授)

人とロボットのインタラクションというと、ロボットが人の感情や要求といったものを読み取り、それに対応した出力を行うという枠組みを考えがちである。本講演では、ロボットの身体性に基づく情報発信と、受信側である人の多様な解釈によって形成されるインタラクションデザインについて話題提供する。赤ちゃん人形型ロボットならびにオノマトペで動作するロボットによるインタラクションデザインの一例を紹介する。

■ 感情変化に適応的なリコメンデーションを行う感情指向型インターフェース

Time: 15:30-17:00

講師: 市村 匠 先生 (県立広島大学 経営情報学部 准教授, 広島地域連携センター長)

感情の概念を情緒、気分、表情の3つに分けてコンピュータによる感情処理を行う。我々は発話内容から情緒の種類とその度合いを情緒計算式(EGC)により求め、気分の変化を表現する心的状態遷移ネットワーク(MSTN)で表現する方法を提案し、対話インターフェースに应用している。ところがEGCは好感度と呼ばれる快/不快の度合いを示すデータベースが発話内容に応じて用意しなければならない。MSTNは状態遷移確率が個人を取り巻く環境ごとに設定しなければならないという問題点があった。本講演ではこれらの問題を解決するために、好感度データベース学習手法と気分の変化に応じた強化学習の手法を適用し、スマートフォンで実装した。開発したインターフェースを例に詳説する。

■ 講演終了後に懇親会を予定しています。